



## 介護家族のつどい 6月7月の「ほっこり」は…



梅雨冷えの肌寒い日と真夏のような日差しが降り注ぐ日が、交互にやってきて体調管理が難しい時期ですが、みなさまお元気でお過ごしですか。

6月と7月に開催しました「ほっこり」の様子をお知らせします。

「6月のほっこり」は「看取りを終えた人のつどい」も同時開催し、介護中の方も含め17名参加してくださいました。

<< 看取られた方のコメント >>

- ・敗血症と糖尿病の持病があったご主人を看取られた方  
主人は物静かで療養病棟にいたが去年亡くなった。  
お互いよい人生だった。

<妻>

「ほっこり」会員から・・・

無我夢中で介護をし、介護を終えてから看取り後、うつになる人もいます。

ほっこりのような場で話すことで、気持ちが楽になることもあるので、出かけてほしいと思います。

「7月のほっこり」は「若年性認知症「ほっこりらぶ」も同時開催し、17名参加してくださいました。

<< ご相談内容 >>

- ・若年性認知症の息子を介護している。  
訪問リハビリを利用しているが、本人が落ち込んでいるので何とかしてあげたい。
- <母>
- ・特養で妻を介護している。何もかも手厚くお世話をしてくれるので、自分で何もすることがなく部屋にいるため、認知症が進行している。  
老々介護をしているので、自分自身の心配もしている。
- <夫>

「ほっこり」は、介護中の方、介護を終えられた方など、いろいろな方のお話を聞くことができます。

一人で悩まず、日ごろの思いをお話してみませんか？同じ立場に立つ仲間たちがお待ちしています。

みなさまも、ぜひ一度お越しください。

